



©大阪商工会議所資料提供

大阪府公文書館明治一五〇年企画

「天下の台所」から 「東洋のマンチェスター」へ



明治維新後、日本は西洋文明の摂取を積極的に行い、近代化の道を本格的に歩み出しました。それが「富国強兵」、「殖産興業」などの言葉にも示されています。そのような激動の時代において、かつて「天下の台所」と呼ばれた大阪は、五代友厚をはじめ多くの人々の力で「東洋のマンチェスター」へと変貌を遂げていきました。大阪府公文書館と、大阪商工会議所の所蔵資料を利用しその過程を概観します。

【企画展示】

期間 平成30年8月1日(水曜日)から11月30日(金曜日)
開館時間 9時00分から17時15分まで
(土曜日、日曜日、国民の祝日及び振替休日除く)
場所 大阪府公文書館
(大阪市中央区大手前2丁目 大阪府庁本館5階)

【出張講座】

日時 平成30年8月14日(火曜日)
14時00分から15時30分まで(開場は13時30分から)
場所 大阪府立中央図書館2階多目的室
(東大阪市荒本北1-2-1 お間違えないようお願いします)
定員 80名(申込不要・先着順・受講無料)
講師 大阪府公文書館専門員 謝 政徳

大阪府公文書館と 明治150年について

大阪府公文書館は、大阪府が作成・取得した文書や資料のうち歴史的文化的価値があるものを保管して府民の皆様にご利用いただく施設です。

今年度は明治150年を記念した展示や講座を行っています。

入場は無料。大阪城等、近隣のスポットや大阪府庁正庁の間と共に御覧いただけます。

